



テーマ 学悠館で強みを磨き、無限の可能性と輝く未来を創造する。

本年度の目指す生徒の姿

- 夢や希望を抱いて未来を描き、その実現にチャレンジする生徒
- 自分の能力に気づき、主体的・自律的な学びに真摯に取り組む生徒
- 多様な価値観を尊重して他者と協同し、共に成長する生徒

取組の視点

- よりよく生きるための基盤となる健やかな心と身体を育てる
- 生徒の強みや可能性を引き出し、主体的・自律的な行動につなげる
- 仲間との信頼関係を築き、協力できる豊かな感性を育てる
- 選択と集中を意識して、効率的な教育活動を進める。

努力点	学校自己評価				学校関係者評価
	本年度の具体的方策	評価指標	評価結果	次年度以降への改善策	
安全・安心な学校生活の提供	スクールカウンセラーと連携し、教員間の共通理解を前年以上に深め、生徒指導に生かす。	生徒・保護者アンケートの相談に関する質問への回答で、肯定的評価が生徒・保護者とも60%以上ならA、生徒・保護者のどちらかが60%以上ならB、どちらも60%未満ならC。 [昨年度:生徒95.4%、保護者96.9%]			
主体的・対話的な深い学びの研究と実践	スクールガイド巻末の「学習状況・特別活動出席確認一覧表」の活用を、本人および保護者に通知して定着を図る。	「学習状況・特別活動出席確認一覧表」の活用が 十分にできた…A 概ねできた…B あまりできなかった…C			
	ICT活用のための研修を計画・実施し、生徒の学習活動に活かす方法を研究する。	ICT活用のための研修が 十分にできた…A 概ねできた…B あまりできなかった…C [昨年度:2回実施]			
キャリア発達・進路実現を促す活動	生徒に対応したキャリア発達の支援ができるように、ホームルーム活動・特別活動を計画・実施する。	ホームルーム活動・特別活動の実施が、 十分にできた……A 概ねできた ……B あまりできなかった ……C			
	検定試験等の資格取得者、コンクール等の応募者、模擬試験の受検者数を増やす。	「資格取得・応募・受検した」生徒数が、 昨年より増加した …A 昨年度とほぼ同じだった…B 昨年度より減少した …C [昨年度:のべ35人]			
開かれた学校、地域との連携・協働	学報とホームページを連動させて生徒への情報提供を行い、保護者との連携を図る。	学報とホームページ、保護者との連携が、 十分にできた……A 概ねできた ……B あまりできなかった ……C			
	ICTを活用することで面接指導や特別活動に生かすことのできる地域資源がどれだけあるかを調査・研究する。	調査・研究が 十分にできた…A 概ねできた…B あまりできなかった…C			
心身の健やかな成長	体育のスクーリング・体育的行事で、ラジオ体操を継続的に指導し、基礎体力の向上を図る。	アンケートを実施。体力が、ア)十分に向上した。イ)ある程度向上した。ウ)向上しなかった。 ア)+イ)が80%以上ならA、80%未満50%以上ならB、50%未満ならC。 [昨年度:93.7%]			
豊かな人間性・社会性の育成	外部の人的資源について、利活用を積極的に行い、生徒の社会的成長を支援する。	外部の人的資源の利活用が、 積極的にできた……A 概ねできた ……B あまりできなかった ……C [昨年度:のべ13人]			
	クリーン運動等において、教員から生徒へ積極的に声をかけ、生徒が自らコミュニケーションを図れるように支援する。	生徒にアンケートを実施する。 よくできた…A 概ねできた…B できなかった…C [新規調査項目]			